

2017年6月24日

日本福祉大学高浜専門学校同窓会の
これまでとこれから
～卒業研修会を中心に～

朝倉起己

作業療法学科1期生

第2代同窓会長

はじめに ～自己紹介～

- 1996年4月 作業療法学科入学
- 1999年3月 卒業
- 1999年4月 就職（共和病院 愛知県大府市）

- 2006年5月 同窓会 幹事就任（学術部会）
- 2012年5月 同窓会 会長就任（2016年6月まで）
- 2016年6月 同窓会 監事就任



朝倉 起己

(作業療法学科 1 期生)

1999 年 3 月卒)

今年度より同窓会幹事（学術部会担当）を務めさせていただいております。現在、共和病院（愛知県大府市）にて精神疾患により生活に障害を持つ方々に対して作業療法を用いて支援させていただいております。

同窓会幹事としてはまだまだ一年目ですがこれも何かの縁（因縁??）ですので、高浜に入学した初心を忘れず（入学した時は 10 代でしたが、気付いたらもうすぐ 30 才…）フレッシュな気持ちで務めさせていただきますので同窓生の皆さんよろしくお願い致します。

同窓会運営

～卒業研修会を中心に～

卒業研修会とは

- 年に1回、定例総会後に開催
- 研究奨励事業の活用と推進
- 同窓生の研究発表・活動報告の場

第7回定例総会・第6回卒業研修会開かれる
2007年5月27日(日) 母校にて開催 参加者数 総会 55名、懇親会 56名

第1部
いきいきホールにて、昨年度の事業報告と決算、そして新年度の事業計画と予算案が承認されました。また同窓会監事に、介護福祉学科長の交代に伴い、間瀬先生が退任され水谷なおみ先生が就任。



第2部
続いて同ホールにて、第6回卒業研修会が開かれ2つの講演が開かれました。
はじめに、日本福祉大学情報社会学部に移られた間瀬敬子先生から『介護の変遷』。
続いて作業療法学科3期生の中村泰久氏から『リハビリテーション概念と実際』のお話でした。
講演は熱心な質疑応答の場となり、飛び入りで田原美智子校長からのご説明もいただきました。
内容の詳細はホームページにて公開しております、ご覧ください。
またDVDにして記録保存しております。 検索⇒日本福祉大学高浜専門学校同窓会



第3部
会場を懐かしの専門学校内の基礎医学実習室に移して懇親会を開催いたしました。
恒例のじゃんけん大会もあり、懐かしい校友・恩師との交流に楽しい時間を過ごしました。



Jrを連れて
参加しました

卒後研修会の内容 1/4

回数	内容・テーマ	発表者
①2002年 5月	講演①；研究の手がかり 講演②；チームワークの輪の中で	田原美智子（母校教員） 鈴木明子（母校校長）
②2003年 5月	講演；介護保険の功罪 研修；職場における現状と課題	片山徹（母校教員） グループワーク
③2004年 5月	講演；これからの介護保険と痴呆ケア 研究発表①；生活支援への取り組み 研究発表②；介護老人保健施設における 介護職員の医療行為	遠藤英俊 （国立長寿医療センター） 山本圭一郎（介護1期生） 西尾円香（介護7期生）
④2005年 5月	講演；介護保険改正後における介護事業 の諸課題 研究発表①；前頭葉症状を呈した症例に 対する高次脳訓練 研究発表②；時計描画テストと改訂長谷 川式簡易知能評価スケールとの相関につ いて	長岩嘉文（中央校教員） 押富俊恵（作業5期生） 岩丸陽彦（作業2期生）

卒後研修会の内容 2/4

回数	内容・テーマ	発表者
⑤2006年 5月	講演；生活を創る福祉用具の活用	渡辺崇史（日本福祉大学）
⑥2007年 5月	報告；卒業生アンケート報告（第1報） 講演；介護の変遷 講演；リハビリテーション概論と実際	田原美智子（母校 校長） 間瀬敬子（日本福祉大学） 中村泰久（作業3期生）
⑦2008年 5月	報告；卒業生アンケート報告（第2報） 実践報告；心の通う介護実践	来島修志（母校 教員） 水谷なおみ（母校 教員） 加藤千恵子（介護5期生）
⑧2009年 5月	研究発表；精神科急性期治療病棟における『患者心理教育プログラム』に対する満足度調査 活動報告；Australiaでの出会いと学び フォーラム；高浜教育で伝えたこと（伝えたかったこと）	白井雅樹（作業5期生） 間野布友子（介護6期生） 西村正広（母校教員） 岩本喜代子（母校教員） 来島修志（母校 教員）

卒後研修会の内容 3/4

回数	内容・テーマ	発表者
⑨2010年 5月	研修；実習指導のコツ 半田キャンパス見学会	グループワーク
⑩2011年 5月	講演；東日本大震災からの復旧に向け対 人援助職として今できることを考える	中井恵子（共和病院） 中嶋弘志（共和病院） 成瀬明（介護9期生） 石本馨（日本福祉大学）
⑪2012年 5月	研究発表；介護施設における介護職員の モチベーションとストレスに関する調査研究 体験報告；障害者になって思う『障害受 容』	目次哲也（介護3期生） 押富俊恵（作業5期生） 山田隆司（作業4期生）
⑫2013年 5月	実践報告①；作業療法士として、臨床と 愛知県作業療法士会活動での取 り組み 実践報告②；精神障害とフットサル 実践報告③；グループ回想法の効果	岩丸陽彦（作業2期生） 並河勇志（作業3期生） 古城秀展（介護10期生）

卒後研修会の内容 4/4

回数	内容・テーマ	発表者
⑬2014年 6月	実践報告①；高浜安立荘におけるオムツ ゼロへの取り組み 実践報告②；西尾老人保健施設における 『おとなの学校』の取り組み 実践報告③；Team, re:Questの活動報告	古城秀展（介護10期生） 野津美智子（介護2期生） 石原武幸（作業10期生）
⑭2015年 6月	講演；地域包括ケアシステムと介護職・ 訪問リハビリテーション 実践報告①；今、OTだからできること 実践報告②；介護付有料老人ホームの実 際 実践報告③；訪問看護ステーション(終末 期領域)でのリハビリテーション	二木立（日本福祉大学） 木俣聖佳（作業1期生） 越前裕司（作業2期生） 太田崇（作業1期生）
⑮2016年 6月	活動報告；熊本震災ボランティア活動 シンポジウム；介護福祉士のキャリア ケース	成瀬明（介護9期生） 鈴木俊文（介護1期生） 目次哲也（介護3期生） 榊原美恵（介護10期生） 山下正義（介護11期生） ⁹

卒後研修会のメリット

参加者として

- ✓ 身近な人の身近な実践を聴くことができる
- ✓ 同窓生の取り組みに発奮の機会になる

発表者として

- ✓ 安心する場での報告の機会になる
- ✓ 恩師からアドバイスを受ける機会になる
- ✓ 認めてもらおう（見返す？）機会になる

同窓会運営 ～その課題～

幹事の担い手

- 幹事会の様子 (Facebookより)



← 2015年9月 ↑
2017年2月

運営費

資料 2

2006年度 決算書

<収入の部>

項目	予算額	決算額	差異	備考
前年度繰越金	5,960,948	5,960,948	0	
会費	940,000	940,000	0	介護福祉学科、作業療法学科新入生両宮会入会金 84名 × 10,000円
雑収入	100	2,785	2,685	利息
懇親会会費	80,000	46,000	△ 34,000	懇親会会費 23名 × 2,000円
緊急貸与金返金	0	100,000	100,000	
合計	6,981,048	7,049,733	68,685	

<支出の部>

項目	予算額	決算額	差異	備考
総会・常任幹事会	600,000	367,592	△ 232,408	総会会場費203,817、講師謝礼35,000、懇親会費品8,655、常任幹事会関係費19,920
印刷費	470,000	363,527	△ 106,473	封筒印刷費10,500 会報第5号105,105、会報第6号98,175、同意会名簿81,900、第6回総会案内ハガキ印刷費22,097など
研究奨励金	100,000	0	△ 100,000	
図書寄贈費	200,000	199,170	△ 830	
通信費	230,000	338,130	108,130	会報・総会案内発送101,580、往復はがき91,000、切手等145,550
事務費	20,000	23,136	3,136	文房具・コピー用紙等
広報費	50,000	50,000	0	ホームページ更新
予備費	30,000	1,470	△ 28,530	振込手数料
緊急貸与金	0	100,000	100,000	貸付者1名
小計	1,700,000	1,443,025	△ 256,975	
次年度繰越金	5,281,048	5,606,708	325,660	
合計	6,981,048	7,049,733	68,685	

預金通帳および領収証を照合した結果、上記決算を適正と認めます。

2007年 5月 31日

監事 来島 修志

監事 間瀬 敬


- 会費収入がない (2007年度～)
- 年間30万円程の支出
*2006年度は144万円
- 数年後には赤字の見込み
→ 通信費の抑制
→ 会報のweb化
→ 会場利用料の圧縮
→ 懇親会の実費化

総会


- 2016年は20名弱
- *2006年60名程、2009年45名程
- 参加者増のために…
- 開催月・曜日の変更
- 開催場所の変更

第6回定例総会・第5回卒後研修会 開かれる。
 於：2006年5月28日 サイプレスガーデンホテル、参加者延べ112名。

第一部 第6回定期総会
 2005年度の事業報告・決算報告そして2006年度の事業と予算の計画及び新役員の承認。
 内容はホームページ参照 (<http://www.netnfu.ne.jp/heart/>)




第二部 第5回卒後研修会
 講演：生活を創る福祉用具の活用～支援技術の活用～
 講師：渡辺崇史先生（日本福祉大学助教福祉テクノロジーセンター）
 参加者全員がグループワークに参加するなどして、援助者の視点は障害者の出来る事探してある事などを楽しく学習しました。




第三部 懇親会
 じゃんけん大会でユーモアあふれる景品を手にするなど、より親睦を深める事ができました。

第9回定期総会・第8回卒後研修会開かれる
 2009年5月24日（日）母校にて開催 参加人数 延べ90名

第1部 総会：いきいきホール
 鈴木俊文会長から①閉校後も日本福祉大学・中央福祉専門学校と協議を重ねながら同窓会活動を続けていく事、②杉浦由美副会長と同窓会活動の現況と課題について論文にまとめた事（高浜専門学校紀要第2巻所収、同窓会のホームページ参照）を報告。今後の同窓会活動について会員のみなさんから意見や提案をお寄せいただきたい、と述べました。
 続けて、担当役員から昨年度活動報告・決算と今年度事業計画・予算案などを報告し承認されました。



第2部 卒後研修会：いきいきホール
 1) 研究奨励論文発表 白井 雅樹氏（作業療法学科 5期生）
 演題：精神科急性期治療病棟における『患者心理教育プログラム』に対する満足度調査
 2) 活動報告 間野布友美氏（介護福祉学科 5期生）
 演題：ボランティア～オーストラリアでの出会いと学び～



今しかできないことをしたい！



卒後研修会

- 研究奨励事業の活用・推進
- 同窓生の研究発表や活動報告の場



卒後研修会

- 研究奨励事業の活用・推進
- 同窓生の研究発表や活動報告の場
 - 自発的・立候補による発表は無い
 - 幹事会にて内容吟味と打診

* 同窓生のスキルアップの場になるよう、
情報共有の機会になるようにするには…

その他

- 同窓会事務局は中央校へ移行（2010年4月）
→ 長く担当して（支えて）下さっている
林さんの存在大！
- 学園交友連絡協議会の設置（2016年4月）
→ 学園・大学同窓会・高校同窓会
中央校同窓会・高浜同窓会
→ 親睦交流・連携に期待！

同窓会運営のこれから

- 中央校同窓会との連携・吸収合併へ
- 高浜同窓会の在り方について検討
 - まだまだ課題は山積
 - 同窓生ひとりひとりの声をもとにして同窓会が発展するように推進していく

目次会長へバトンタッチ！

あとは頼みます！